

# Hem21 NEWS

公益財団法人  
ひょうご震災記念21世紀研究機構  
ニュース

「Hem21」は、ひょうご震災記念21世紀研究機構の英語表記である  
Hyogo Earthquake Memorial 21st Century Research Instituteの略称です。

VOL. **70** 平成30年  
(2018) 7月

## CONTENTS

- 1 平成30年度研究体制とミッション
- 2 平成30年度の研究テーマ  
平成29年度研究成果について  
書籍案内
- 3 HAT神戸掲示板
- 4~5 情報ひろば
- 6~8 人と防災未来センター  
MiRAi

## 平成30年度 研究体制とミッション

ひょうご震災記念21世紀研究機構研究戦略センターの平成30年度研究体制をご紹介します。

研究調査部では防災・減災の社会づくりに資するとともに、21世紀文明のあり方について研究し、国内外の政策形成に情報発信すべく、研究調査の推進を図っていきます。

### 研究テーマと担当研究員

#### 【自主研究テーマ】

##### 東日本大震災復興の総合的検証

石塚 裕子 主任研究員、小林 悠太 主任研究員

東日本大震災の復興プロセスを、住まい、生業とコミュニティの再建、記録と伝承、支援制度などテーマ別に分析した上で、岩手、宮城、福島県の3県の自治体首長等のオーラル・ヒストリー調査を実施して、東日本大震災復興の総合的検証を行う。その得られた知見から、南海トラフをはじめとする今後の大規模災害に備えた政策提言を行う。



##### 地域コミュニティの防災力向上

##### ～インクルーシブな地域防災へ～

石塚 裕子 主任研究員

総合的で日常的な地域活動が地域防災力であるという仮説の下、多様な当事者が一体となったさまざまな活動が展開されるようなインクルーシブな地域防災を実現するための政策提言を行う。ケーススタディとして人口減少・高齢過疎化を迎える兵庫県上郡町において、祭りの場を活用した内発的な地区防災計画の策定を試行し、持続可能な地域づくりにおける「防災」を考えていく。

##### 少子高齢化社会の制度設計

##### ～年齢で人生を区別しない社会並びに子どもを 生み育てやすい社会の実現に向けて～

劉 雯 主任研究員

人口減少と少子高齢化時代が急速に進む中、年金、医療、介護、少子化対策等の各分野にわたって、制度の再構築が進められつつある。雇用制度に関して、高齢者でも健康で働く意思のある人には仕事がある、また女性が子どもを生み育てやすい社会の実現に向けて、兵庫県下の企業の実態調査をすることにより、そういう新しい社会の構築、新たな制度の枠組みについて政策提言を行う。



##### 南海トラフ地震に備える政策研究(テーマ検討中)

湯川 隼人 主任研究員

迫り来る南海トラフ地震に備えるため、過去の大災害についての機構での研究も踏まえつつ、減災のための強靱な地域づくり、住宅再建等の生活復興や地域経済の復興をはじめとする諸問題について体系的に研究する。



##### ひょうご新経済戦略研究(テーマ検討中)

地域創生が求められる中、地域活力の源泉である経済発展に向けた成長産業の集積と、そのための公民連携・制度改革のあり方や、若者にとって魅力ある地域づくりの方策などの諸問題について体系的に研究する。

#### 【県要請研究テーマ】(兵庫県要請研究)

##### ネット社会において地域全体で青少年を守り育てる環境整備のあり方

劉 雯 主任研究員

スマートフォン等の急速な普及により青少年のネット依存や犯罪被害などの問題が発生している。このため、実態把握のためのアンケート調査の詳細分析やオフラインキャンプの効果検証等により、青少年が安全かつ安心してインターネットを利用できる社会を構築するための政策や事業展開を検討する。

## 平成30年度の研究テーマ

当機構では、研究戦略センターのほか、人と防災未来センター、こころのケアセンターの各研究部で研究調査活動を行っており、平成30年度は次の内容の研究に取り組みます。

### 人と防災未来センター

(重点研究領域)

- ・災害初動時における人的・社会的対応の最適化
- ・広域災害に向けた組織間連携方策の高度化
- ・地域社会の復旧・復興戦略の構築

### こころのケアセンター

- ・大規模災害が子どもの心に与える影響のアセスメントシステムに関する研究
- ・大規模交通災害が心身の健康に及ぼす長期的な影響に関する研究
- ・労働者の職業性ストレス、特にハラスメント行為が心身の健康に与える影響の検討
- ・災害救援組織における惨事ストレスおよびメンタルヘルス対策のこれまでとこれから
- ・災害後の精神保健医療分野における受援のあり方に関する研究
- ・トラウマが人の覚醒調整機能に及ぼす心身への影響と介入方法についての研究
- ・発達障害児者におけるトラウマ臨床の実態についての研究—当事者を対象としたインタビュー調査—

## 平成29年度研究成果について

### 事例に学ぶ生活復興(東日本大震災被災者の生活復興プロジェクト) (復興庁委託事業)

委員会座長：御厨 貴、座長代理：河田 恵昭

東日本大震災からの復興の進展に伴い、被災者の置かれた状況やニーズが多様化し、きめ細かな対応が必要となっており、課題に直面する自治体やNPOなど被災地で支援に携わる方々にとって先行事例の活用が有益である。このため、現場の支援者が活用しやすいよう復興のフェーズに合わせて先行事例の課題や取組の工夫を整理し、今後の巨大災害への備え・教訓ともなる冊子を作成した。

◎問い合わせ：研究戦略センター研究調査課 TEL 078-262-5570  
※詳細は機構ホームページ(<http://www.hemri21.jp/>)をご覧ください



## 書籍案内

### 検証・防災と復興シリーズ1~3

あらゆる大災害において自治体の役割とは何か、今後のあり方などについて検証、提言しています。

**大震災復興過程の政策比較分析**  
—関東、阪神・淡路、東日本三大震災の検証—  
五百旗頭 真：監修、御厨 貴：編著

「災後」時代に備える政策のあり方とは。災害に強い行政組織と市民社会を目指し、大震災とその復興を政治学的視点から検証。

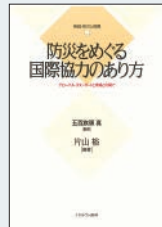


#### ここがポイント

- ◎災害時の政策運用、政治的リーダーシップの重要性、官僚のあり方の重要性を指摘。
- ◎災害・復興時の弱者への対応、再配分への思慮の重要性を指摘。
- ◎多様な組織の参入における政治的プロセスにも注目。

**防災をめぐる国際協力のあり方**  
—グローバル・スタンダードと現場との間で—  
五百旗頭 真：監修、片山 裕：編著

東日本大震災の事例分析から防災教育のあり方まで、国際防災協力における支援活動の実態を分析し、その経過と効果、今後の課題を析出。



#### ここがポイント

- ◎災害時国際援助の政策・法制的総合的検証。
- ◎最先端の研究分析と、JICA・外務省などの災害時対応の現場を知る執筆陣による共同研究プロジェクトの成果。

**災害に立ち向かう自治体間連携**  
—東日本大震災にみる協力的ガバナンスの実態—  
五百旗頭 真：監修、大西 裕：編著

関西広域連合の成果と課題とは。日本内外における災害支援体制を比較分析し、広域災害に有効な理論的枠組み・実践方式を検証。



#### ここがポイント

- ◎震災直後からの自治体の広域連携の実態を検証。
- ◎自治体と他の支援機関・協力団体との連携の実態と可能性を探る。
- ◎アンケート、フィールドワークに基づく検証から、今後の具体的課題を提示。

◎問い合わせ：ミネルヴァ書房 TEL 075-581-0661 FAX 075-581-8379

## 兵庫県立美術館

日本スペイン外交関係樹立150周年記念／  
兵庫県政150周年記念事業  
プラド美術館展—ベラスケスと絵画の栄光—

1819年にスペイン王立の美術館として開設されたプラド美術館は、世界屈指の美の殿堂として知られています。同展は、17世紀スペインを代表するのみならず西洋美術史上最も傑出した画家の一人であり、後世の印象派の画家たちにも大きな影響を与えたベラスケスによる初来日作品を含む7点の重要作品を中心に、イタリアやフランドル絵画を合わせ、61



ディエゴ・ベラスケス《王太子バルタサル・カルロス騎馬像》1635年頃  
マドリッド、プラド美術館蔵  
©Museo Nacional del Prado



ペーテル・パウル・ルーベンス《ヤコブ・ヨルダーンス(アドモダを救うベラスケス)》1639-41年  
マドリッド、プラド美術館蔵  
©Museo Nacional del Prado

点をの油彩画と9点の資料で17世紀スペイン宮廷を巡る美術を紹介するものです。プラド美術館の核となるベラスケスと17世紀絵画のコレクションを通してスペイン黄金時代の社会と文化に触れる貴重な機会となります。

■会期＝10月14日(日)まで

■観覧料＝一般1,600円、大学生1,200円、70歳以上800円、高校生以下無料

## 県美プレミアムⅡ

特集「県政150周年記念 ひょうご近代150年」

本年は、兵庫県が設置されて150年に当たります。これを記念して、兵庫県立美術館収蔵品によって、「ひょうご近代」の150年を振り返ります。



福田翠光《鶺鴒(カフツル)》1940年 絹本着彩

旧国名でいうところの但馬、丹波、播磨、摂津、淡路の5つの地域を擁し、日本海と瀬戸内海に臨む兵庫県は、文化・芸術の分野で見ると、広い県域と多様な風土を反映した多彩な人材を数多く輩出しています。また、開国以来の港を抱え、各地域に小さな中心が存在する当県にはさまざまな人々が往来し、このことが大きな刺激になったと推察されます。

同展では、150年の時空を自由に行き来し、具体的な「あのとき」や「このとき」、「あちこち」や「そこ」や「ここ」といった具体的細部に目を凝らして用意したトピックごとに作品を展示することで、「ひょうご」が再発見できれば、と考えています。

■会期＝11月4日(日)まで

■観覧料＝一般500円、大学生400円、70歳以上250円、高校生以下無料

## 県美プレミアムⅡ

小企画「美術の中のかたち一手で見ると造形 触りがいのある犬—中ハシクシゲ」

毎夏恒例の「手で見る」シリーズ展。29回目の今年は、彫刻における触覚的なものとは何かという根本的問題に、塑造(＝粘土による造形)の達人、中ハシクシゲ(1955-)が挑みます。日々触れ合っている愛犬をモチーフに、視覚を遮断し、触覚だけで塑造。見た目はともかく、触れば生き生きと感じられる、そんな「触りがいのある」彫刻とは、はてさて一体どのようなものなのか!? ぜひじっくりと触れてお確かめください。



【参考図版】中ハシクシゲ《101》1995年

■会期＝11月4日(日)まで

■観覧料＝一般500円、大学生400円、70歳以上250円、高校生以下無料

◎休館日＝月曜

◎開館時間＝10時～18時(特別展開催中の金曜・土曜は20時まで)

※入場は閉館の30分前まで

TEL 078-262-0901(代) <https://www.artm.pref.hyogo.jp/>

## JICA関西

◆食べることから始める国際協力!  
JICA関西食堂の月替りエスニック料理

JICA関西1階の食堂(カフェテリア方式)は、どなたでもご利用できます。完全禁煙で、安心して料理を楽しめ、子供椅子もご用意していますので、お子様連れも歓迎です。毎月の月替りエスニック料理もご好評いただいております!ぜひ、お気軽にお立ち寄りください。



写真は7月のエクアドル料理

メニューの詳細と写真については、こちら→ <http://www.jica.go.jp/kansai/office/restaurant/index.html>

■営業時間＝

(昼)11時半から14時まで (夜)17時半から21時まで

※各終了30分前ラストオーダー

■定休日＝年中無休(年末年始を除く。)

◎問い合わせ

JICA関西(独立行政法人国際協力機構関西国際センター)総務課

TEL 078-261-0346 FAX 078-261-0342

その他、詳細はJICA関西ホームページをチェック!

→ <http://www.jica.go.jp/kansai/>

## 日本赤十字社 兵庫県支部

世界救急法の日 ～World First Aid Day～

9月8日は【世界救急法の日 ～World First Aid Day～】です!!

日本赤十字社は、「人間のいのちと健康、尊厳を守り、苦痛の予防と軽減に努める」という赤十字理念のもと、救急法等講習を多くの方々に普及し赤十字を身近に感じていただくこと、また災害や救急の事態に備えるということを考えるきっかけをつくりたいと考えています。

最近ではショッピングセンターや公共施設など、さまざまな場所にAEDが設置されています。

そのAEDを使って助かるいのちがあるかもしれない…。「もしも」に備えた知識を身につけませんか? 事前申し込み不要のミニ講習会を下記日程で行います。ご参加お待ちしております!

赤十字救急法ミニ講習会

■日時＝9月1日(土)10時～15時

■場所＝ブルメール舞多間1階中央エントランスホール



\* \* \*

日本赤十字社では、万一の病気やけが、災害などに備え、人命を救う方法や健康で安全に暮らすための知識や技術を伝えるためのさまざまな講習を行っています。詳しくはホームページをご覧ください。

活動資金にご協力をお願いします

いのちと健康を守る赤十字活動は、皆さまからお寄せいただく活動資金で成り立っています。

■郵便局・ゆうちょ銀行からご協力いただけます

口座記号番号 01110-0-1136

口座加入者名 日本赤十字社兵庫県支部

※窓口で取り扱いの場合、振込手数料は無料です

◎問い合わせ

TEL 078-241-9889

赤十字 兵庫  検索

 日本赤十字社 兵庫県支部  
Japanese Red Cross Society

研究戦略センター

「ひょうご講座2018」開催のご案内

21世紀文明を切り拓く高度な研究成果や専門的知識を得たいという学習ニーズに応えるため、(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構のネットワークを活用し、テーマ性を明確にした大学教養レベルの連続講座を開講します。

数ある生涯学習講座の中でも、特に一つの分野を掘り下げて幅広い視点から考察するのが本講座の特徴です。本年度は、当機構ならではの5分野において、時代の潮流を踏まえたテーマで実施します。

■講座概要

▶分野等

分野名	開講時期
防災・復興—災害多発時代におけるリスクに備える	9月25日(火)～11月28日(水)
地球環境—兵庫の豊かな自然環境を育む	9月12日(水)～11月14日(水)
地域創生—未来を見据えた地域づくり	9月10日(月)～11月27日(火)
国際理解—混迷する世界を読む	9月6日(木)～11月29日(木)
政治・経済—人口減少時代の国家・社会像を探る	9月7日(金)～11月22日(木)

- ▶回数=10回(1分野)
  - ▶時間=平日の18時30分～20時
  - ▶受講料=1万5,000円(1分野)
  - ▶定員=約40人(1分野)
  - ▶場所=兵庫県民会館(神戸市中央区下山手通4-16-3)
- ※各分野の開講日等詳細については、後記「ひょうご講座」ホームページでご確認ください。

<<内容の紹介>>

防災・復興—災害多発時代におけるリスクに正しく備える

日本列島は災害多発時代を迎えたとも災害が常態化しているともいわれます。今後30年以内の発生確率が70～80%程度とされる南海トラフ地震をはじめ、スーパー台風やカルデラ噴火など、巨大災害の発生も懸念されています。こうしたなか、さまざまなリスクを正しく理解し、被害の最小化や早期の復旧・復興につなげるためにいかに取り組むべきか、安全安心な減災社会の実現に向けた方策について学びます。

地球環境—兵庫の豊かな自然環境を育む

兵庫は、日本海から太平洋に至る広大な県土、変化に富んだ地形や気候など、自然環境に恵まれています。地球温暖化が懸念されるなか、豊かな環境をいかに守り育て、次代に引き継いでいくかということが問われています。こうした観点から、兵庫の環境を今一度見つけ直し、私たちは、今、何をなすべきかを学びます。

地域創生—未来を見据えた地域づくり

少子高齢化の進展や人口減少、東京一極集中の是正などの構造的な課題に対応し、将来にわたり持続可能な魅力ある地域社会を構築するため「地域創生」の取り組みが進められています。未来を担う子どもや若者、高齢者まで全ての人が、それぞれの居住地域で生涯にわたり豊かな暮らしを送るには、何が求められるのか。未来を拓く産業の力を高め、持続可能な自立した地域を創り上げるには、何が必要なのか。これからの活力ある地域づくりのあり方について、実践事例も交えながら学びます。

国際理解—混迷する世界を読む

今年も世界情勢は混迷の度を深めています。超大国の米国は自国第一主義を一段と鮮明にしており、盟主なき世界は求心力を失ったままです。政治的・軍事的に台頭する中国の勢いは、国際社会とりわけ近隣諸国に期待とともに摩擦や緊張関係を生み出しています。人々の不安につけ込むポピュリズムの波は勢いを増し、欧州では極右政党が台頭しEUへの不信感が高まっているほか、移民・難民問題や英国の離脱などで混迷を深めています。基軸を失った今日の国際社会を取り巻く諸課題を明らかにするとともに、今後のあるべき国際関係について考えます。

政治・経済—人口減少時代の国家・社会像を探る

戦後、我が国は目覚ましい成長を遂げましたが、急速に進む人口減少と超高齢化という課題に直面しています。少子高齢化は財政・社会保障の持続性を揺るがすだけでなく、日本の経済・社会システムに大きな変化をもたらします。また、第4次産業革命とも呼ばれる新しい技術革新が、消費や働き方など私たちの暮らしに大きな変化を引き起こしつつあります。大きな構造変化を前に、これまでの発想を転換し、新たな製品やサービスの開発など我が国の強みを活かすとともに、誰もが活躍できる社会づくりなど活力ある未来を構築することが強く求められています。持続可能な社会に向け、これからの国家戦略や経済財政運営について考えます。

■募集締切

8月29日(水)必着(インターネット、FAX、郵送で受け付け)ただし、先着順に受け付け、定員になり次第締め切ります。

●申し込み・問い合わせ先

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構  
研究戦略センター 交流推進課 ひょうご講座担当  
〒651-0073  
神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2  
人と防災未来センター東館6階  
TEL 078-262-5713 FAX 078-262-5122  
<http://www.hyogo-al.jp/kouza/>



兵庫自治学会事業のご案内

①総会・研究発表大会

平成30年度の研究発表大会を以下のとおり予定しています。どなたでも参加できますので、ぜひお申し込みください! (参加無料)  
※参加申込書(チラシ)は、8月下旬に当学会ホームページ(<http://hapsa.net/>)にアップする予定です。

▶日時=10月7日(日)10時～16時30分

▶場所=兵庫県立大学・神戸商科キャンパス(神戸市西区学園西町8-2-1)

※神戸市営地下鉄「学園都市」駅下車徒歩約10分

▶大会テーマ「公民連携による活力ある地域づくりに向けて」

少子高齢化、財政基盤の脆弱化、社会インフラの老朽化などが進む中、さまざまな地域課題を解決する上で、行政と民間(企業、NPO、市民等)が連携し、互いの資源やノウハウ、強みを生かした双方にメリットのある仕組みづくりが求められています。

こうした問題意識の下、PPP/PFIを



はじめ「公民連携」の先進事例などを参考に、課題解決に向けた効果的な連携方策について考えます。

▶プログラム

総会(10時~10時15分)

全体会(10時30分~12時15分)

基調講演:根本祐二

(東洋大学経済学部教授、同大学院経済学研究科公民連携専攻長、同PPP研究センター長。内閣府PFI推進委員会委員、国土交通省社会資本整備審議会委員等公職兼務)

交流サロン(12時15分~13時30分)

参加者同士の意見交換、交流会

分科会(13時30分~16時30分)

研究発表、意見交換

②グループ研究応援事業、コラボレーション・プロジェクト事業

会員の皆さま向けの支援事業は、いつでもお申し込みいただけます。詳しくは、当学会ホームページ参照。

③兵庫自治学会セミナー

どなたでもご参加いただけます。時期は、来年2~3月ごろを予定しています。(参加無料)

兵庫自治学会とは、県政および県内市町行政の振興と地域の発展のために、行政や地域に関するさまざまな課題について研究し、課題解決のための政策形成能力の向上と、組織や職種を超えた幅広いネットワークづくりを目指している団体です。自らの視野を広げるため、一歩踏み出してチャレンジしてみませんか。

■会員になるには

年会費2,000円。

次のいずれかに該当する方ならどなたでもご入会いただけます。

兵庫県職員、県内市町職員、県内に在住または在勤の学識者・NPO職員・個人(現会員数 約520人)

○会員の皆さまには、上記②の支援や全米公共・行政学会への派遣支援、学会誌・会報の送付を行っています。

※月1回程度、会員等ご希望の皆さまにメールマガジンを配信しています。所属の異動やメールアドレスが変更になった方は、お知らせください

●申し込み・問い合わせ

兵庫自治学会事務局

((公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 研究戦略センター内)  
〒651-0073

神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 人と防災未来センター東館6階

TEL 078-262-5713 FAX 078-262-5122

Eメール gakujuitsu@dri.ne.jp

http://hapsa.net/ (+入会フォームはこちら)

兵庫県こころのケアセンター

平成30年度第1期「こころのケア」研修の受講生募集

「こころのケア」に携わる保健・医療・福祉・教育等の分野で活動されている方を対象に、各種課題への対処法等について学ぶ「こころのケア研修」を実施しています。

9月から11月にかけて実施する研修の受講生を次のとおり募集します。ぜひご参加ください。

▶研修概要

区分	コース名	期間	定員	対象	受講料(資料代等)
専門研修	①DV被害者のこころのケア	9月19日(水)	35人	母子自立支援員、女性相談員(婦人相談員)、婦人保護施設職員、母子生活支援施設職員、家庭問題相談員、保健師、福祉事務所職員、こども家庭センター(児童相談所)職員等DV被害者相談支援関係職員	2,500円
	②被災者や被害者をささえるためにーサイコロジカルファーストエイドを学ぶー	10月4日(木) 5日(金) (2日間)	25人	学校・社会福祉協議会・保健師・病院等の精神保健福祉関係者	4,000円
	③犯罪被害とこころのケア	10月18日(木) 19日(金) (2日間)	25人	保健・医療・福祉・教育・司法・警察・消防関係等職員	4,000円
	④被害者や被災者の中長期の回復を支えるこころのケアーサイコロジカル・リカバリースキル(SPR)ー	11月8日(木) 9日(金) (2日間)	35人	医師、臨床心理士、看護師、保健師、精神保健福祉士、その他関連領域の関係者	3,500円

▶場所=兵庫県こころのケアセンター(阪神「春日野道」駅から南へ徒歩約8分)

▶申し込み方法=受講申込書(※)に必要事項を記入の上、郵送、FAX、Eメールで下記までお送りください。申込者多数の場合は、各研修開始日の1カ月前(前月の同日)の17時を期限として、初めて受講の方を優先の上、抽選で決定します。

※当センターホームページからダウンロードできます

●申し込み・問い合わせ

兵庫県こころのケアセンター 研修情報課

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-3-2

TEL 078-200-3010 FAX 078-200-3017

Eメール kensyu@j-hits.org

http://www.j-hits.org/

思いに色を、カタチを与える

写真集・詩集・自費出版のお問い合わせは

神戸新聞総合印刷  
神戸新聞総合出版センター

http://www.kobnpp-printing.co.jp/

## 「夏休み防災未来学校2018」開催中

人と防災未来センターでは、子どもから大人まで楽しみながら防災・減災について学ぶことができる「夏休み防災未来学校2018」を7月21日(土)から9月2日(日)まで開催しています。

昨年度も好評を得た「じょうぶなストロー建物をつくろう!」「紙でいろいろ作ってみよう!」「ロープワークでミサンガをつくろう!」などの工作ワークショップのほか、地震の仕組みなどを学ぶ「サイエンス実験」、大地震の揺れを体験する「地震体験車」、普段入ることのできない収蔵庫を特別に見学することができる「収蔵庫見学」など多数のプログラムを実施。各プログラムの内容や開催日時、参加申し込み方法など詳細はウェブ(<http://hitobou.com/event/summer/>)で公開しています。

また、8月17日(金)の無料観覧日を含む8月14日(火)～26日(日)は、西館1階ロビーを会場として「六甲山の災害展2018」を開催します。過去に六甲山で起きた災害に関するパネル展示のほか、土石流実験や豪雨装置などを実施します。

近年、地震や豪雨などさまざまな災害が起きています。この機会に家族や地域の方々とご来館いただき、災害について学び、自身の防災につなげてください。



じょうぶなストロー建物をつくろう!



紙でいろいろ作ってみよう!



地震体験車



六甲山の災害展2018



ロープワークでミサンガをつくろう!

## 新任研究員紹介

### 岸江 竜彦 (きしえ たつひこ)

このたび三重県から派遣されました岸江竜彦と申します。平成24年度に防災部局に異動後、最初の3年間は広域防災拠点整備や広域連携の枠組み整備、マニュアル整備など、その後の3年間は実動訓練や図上訓練、職員研修などを担当してきました。この間、人と防災未来センターには研修だけでなく、三重県における各種検討にもご協力いただいております。さらには今回は研究調査員としての機会を頂くことができ大変感謝しております。

私の目下の課題は職員への研修のあり方についてです。南海トラフ地震の発生が危惧される中、三重県は震源域の上であり、さらに津波の恐れもあります。そのような状況では、一部の防災スペシャリスト人材だけでは対応が滞るため、多くの「防災のことを知っている職員」が必要とされます。

皆さん、会話の内容が合うと楽しくなるという経験はありませんか?職員の間で防災の話題で盛り上がる、そんな環境を目指していきたいと思っておりますし、既にそのような環境にあるこの「人と防災未来センター」で、多くの方々、多くの研修、多くの活動に触れ合っていきたいと思っております。ご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



# 平成30年度1.17防災未来賞「ぼうさい甲子園」を実施します

学校や地域において、防災学習に主体的に取り組む児童や生徒等の先進的な活動を顕彰する平成30年度1.17防災未来賞「ぼうさい甲子園」を兵庫県、毎日新聞社と共催で実施します。応募いただいた中から優秀な活動を選考し、平成31年1月13日(日)に兵庫県公館で表彰式・発表会を開催します。



29年度グランプリの徳島県阿南市立津乃峰小学校



29年度の受賞者

### 【対象部門】

①小学生 ②中学生 ③高校生 ④大学生  
※自主防災組織、NPO等からも各部門に応募できます。

### 【対象活動】

自然災害から命と暮らしを守るための防災教育や防災活動の取り組み。応募は学校、クラス、サークル活動、ボランティア活動、地域などの単位で。  
※他薦歓迎

### 【対象期間】

平成29年10月1日～31年3月31日  
(活動予定も含む)

### 【応募締め切り】

平成30年9月30日(日)(消印有効)

### 【応募方法】

下記のURLの申し込みフォームから、または応募用紙をダウンロードの上、郵送で、応募してください。  
<http://npo-sakura.net/bousai-koushien/>

### 【応募用紙の配布】

下記の機関で応募用紙を配布しています。

- ・兵庫県復興支援課  
TEL 078-362-9984
- ・(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構  
人と防災未来センター事業部事業課  
TEL 078-262-5068

### 【応募先】

〒662-0041  
西宮市末広町4-7 夙川レッチオレジデンス402  
ぼうさい甲子園事務局 (特非) さくらネット  
TEL 0798-23-3215  
Eメール [bousai\\_koushien@yahoo.co.jp](mailto:bousai_koushien@yahoo.co.jp)

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構

## 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2

観覧案内・予約 / TEL 078-262-5050 <http://www.dri.ne.jp/>

開館時間	9時30分～17時30分(入館は16時30分まで)		
	※7月～9月は9時30分～18時(入館は17時まで) ※金曜、土曜は9時30分～19時(入館は18時まで)		
入館料金	大人	大学生	高校生/小・中学生
	600円(450円)	450円(350円)	無料
	[障がい者]		
	大人	大学生	高校生/小・中学生
	300円(100円)	200円(50円)	無料
	[70歳以上の高齢者] 300円(200円)		

※( )は20人以上の団体料金  
※毎月17日(休館日の場合は翌18日)は入館無料

休館日 毎週月曜(月曜が祝日の場合は翌平日)、12月31日と1月1日  
※ゴールデンウィーク期間中(4月29日から5月5日まで)は無休  
※資料室の開室日についてはホームページでご確認ください

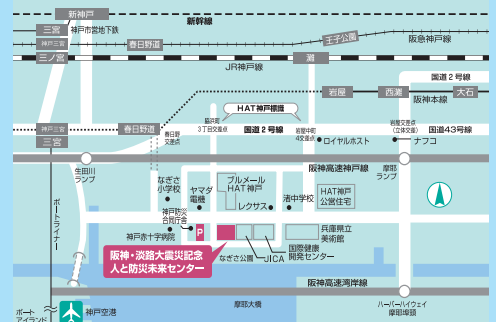
### 交通

鉄道 ・阪神電鉄「岩屋」駅、  
「春日野道」駅から徒歩約10分  
・JR「灘」駅南口から徒歩12分  
・阪急電鉄「王子公園」駅  
西口から徒歩約20分

バス ・三宮駅前から約15分

車 ・阪神高速道路神戸線  
「生田川」ランプから約8分  
・阪神高速道路神戸線  
「摩耶」ランプから約4分  
・阪急・阪神・JR「三宮」駅から約10分

●有料駐車場あり ●バス待機所(予約制/無料)あり



## 平成30年度春期 災害対策専門研修マネジメントコースの実施結果

人と防災未来センターでは、地方自治体職員などを対象とした「災害対策専門研修」マネジメントコースを平成14年度から実施しています。同コースは、災害対策実務の中核を担う人材の育成を目的とし、阪神・淡路大震災の教訓を学習することを重点としつつ、最新の研究成果も取り入れ、能力に応じた体系的・実践的なカリキュラムとなっています。平成29年度までに延べ3,048人の方々が受講され、全国の自治体等から高い評価を得ています。本年度春期研修においては、ベーシックおよびエキスパートAの2コースを実施しました。(エキスパートBは大阪北部地震により中止)

ベーシックは本年度から、小規模自治体の皆さまにも受講していただきやすいよう内容を見直し、研修期間を4日から3日に短縮するとともに、定員オーバーで受講できない応募者を減らすため、定員を50人から70人に増員しました。また、内容も防災担当者として応急期から復興期まで対応していくために必要となる知識のうち、初めて防災業務に従事する者が押さえておくべき必須の知識を集中的にインプットできるものに改編しました。そのような改善を行った上で、経験年数の浅い防災・危機管理担当部局の職員が早期に災害対応できるようになることを目指し、災害対策のあり方など実践的な事項について体系的に学習することを目的に研修を実施しました。行政における災害対応業務の実際についての講義をはじめ、自然災害への備えと対応や災害時の男女共同参画、災害関連法など、基礎的な事項についての体系的な講義や、地域防災計画の法的な位置付けについての講義などを行いました。復興まちあるきでは、震災時は木造住宅が密集しており、大きな被害の出た神戸市長田区の復興後のまちなみを視察し、阪神・淡路大震災の被災地での復興過程とさまざまな取り組みを学びました。

エキスパートでは、大規模災害発生時に各種の対応が同時並行的に展開される状況を横断的・総合的に捉え、これに対処する能力を向上させることを目的に研修を実施しました。目標管理型災害対応の考え方を身に付ける演習や、初動期から応急期さらには復旧・復興期に至る災害対応についての講義、災害対応における民間企業や自衛隊、被災自治体の広域的な連携のあり方についての講義、災害時の情報の収集・整理や報道機関等への提供方法についての講義などを行いました。

研修終了後のアンケートでは、「災害時の対応、やらなければいけないこと、優先すべきことを大局的に知ることができた」「これまでの研修や講習で得た知識は“点”でしかなかったが、この研修を受けてやっと“線”になった」「住民と同じ目線に立って想像力を働かせることの大切さを感じた」等の意見が寄せられました。さらに、受講者間の交流を通じて防災担当者の全国的なネットワークが一層強まりました。



ベーシック 「災害史と社会」の講義(6月7日)



ベーシック 復興まちあるき(6月7日)



エキスパートA 市民社会ワークショップ(6月14日)



エキスパートA 民間企業と連携した災害対応(6月14日)

コース名	日程	参加人数	修了者
ベーシック	6月6日(水)～8日(金)	69人	69人
エキスパートA	6月12日(火)～15日(金)	28人	28人
合計(延べ)		97人	97人



**Hem21NEWS**  
vol.70

平成30年7月発行

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構  
〒651-0073  
神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2(人と防災未来センター)  
<http://www.hemri21.jp/>

当機構は、以下の組織で構成しています。

- 管理部  
TEL 078-262-5580  
FAX 078-262-5587
- 人と防災未来センター  
TEL 078-262-5050  
FAX 078-262-5055
- 研究戦略センター  
▶ 研究調査部  
TEL 078-262-5570  
FAX 078-262-5593
- ▶ 学術交流部  
TEL 078-262-5713  
FAX 078-262-5122

- ころのケアセンター  
〒651-0073  
神戸市中央区脇浜海岸通1-3-2  
TEL 078-200-3010  
FAX 078-200-3017

ニュースレターに関するご意見・  
ご感想を機構までお寄せください